

(令和 4 年 01 月 24 日)

< ワンポイントレッシン (理論・基礎知識編) >

(雑感 (2)、主要各国の消費者物価指数)

・e-Stat の消費者物価指数 (月報) の参考表には、主要国の消費者物価指数の変化率のデータが収録されています。収録されているのは、日本、アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、中国。韓国の主要国です。下表、上段は年平均、下段は前年同期比、抜粋してまとめてみました。

・主要国での比較は重要、ただし、当サイトの現在は、特に日本、アメリカに絞っています。その中で米国の 21 年の消費者物価指数は、年平均 4.7% 上昇と突出。16 年から 20 年は、概して 1.5~2.5% の上昇にコントロールされていました。

	(消費者物価指数)					(単位:%)
	日本	アメリカ	ドイツ	イギリス	中国	
2016年	-0.1	1.3	0.5	0.7	2.0	
2017	0.5	2.1	1.5	2.7	1.6	
2018	1.0	2.4	1.8	2.5	2.1	
2019	0.5	1.8	1.4	1.8	2.9	
2020	0.0	1.2	0.5	0.9	2.5	
2021	-0.2	4.7	未	未	0.9	
	(前 年 同 期 比)					
21年7月	-0.3	5.4	3.8	2.0	1.0	
8月	-0.4	5.3	3.9	3.2	0.8	
9月	0.2	5.4	4.1	3.1	0.7	
10月	0.1	6.2	4.5	4.2	1.5	
11月	0.6	6.8	5.2	5.1	2.3	
12月	0.8	7.0	未	未	1.5	

e-Stat 参考表・主要国の消費者物価指数変化率より抜粋

関連して、消費者物価指数の年平均指数は、品目及び類ごとに 1 月から 12 月までの月別指数を単純平均して算出する。ただし、生鮮食品の各品目については、月別ウェイトを用いて加重平均をする (総務省・統計局) としています。

[先週の追加]。21 年 4 月通信関係費の値下げがありました。今年 3 月までの消費者物価指数の前年同期比は値下げ前各月との比較となりますがどう読むか。少なくとも昨年 4 月以降の動きは別途押さえておきたいところです。

(了)